

〈学術著作集ライブラリー〉

沖野岩三郎

著作集

解説 太田雅夫

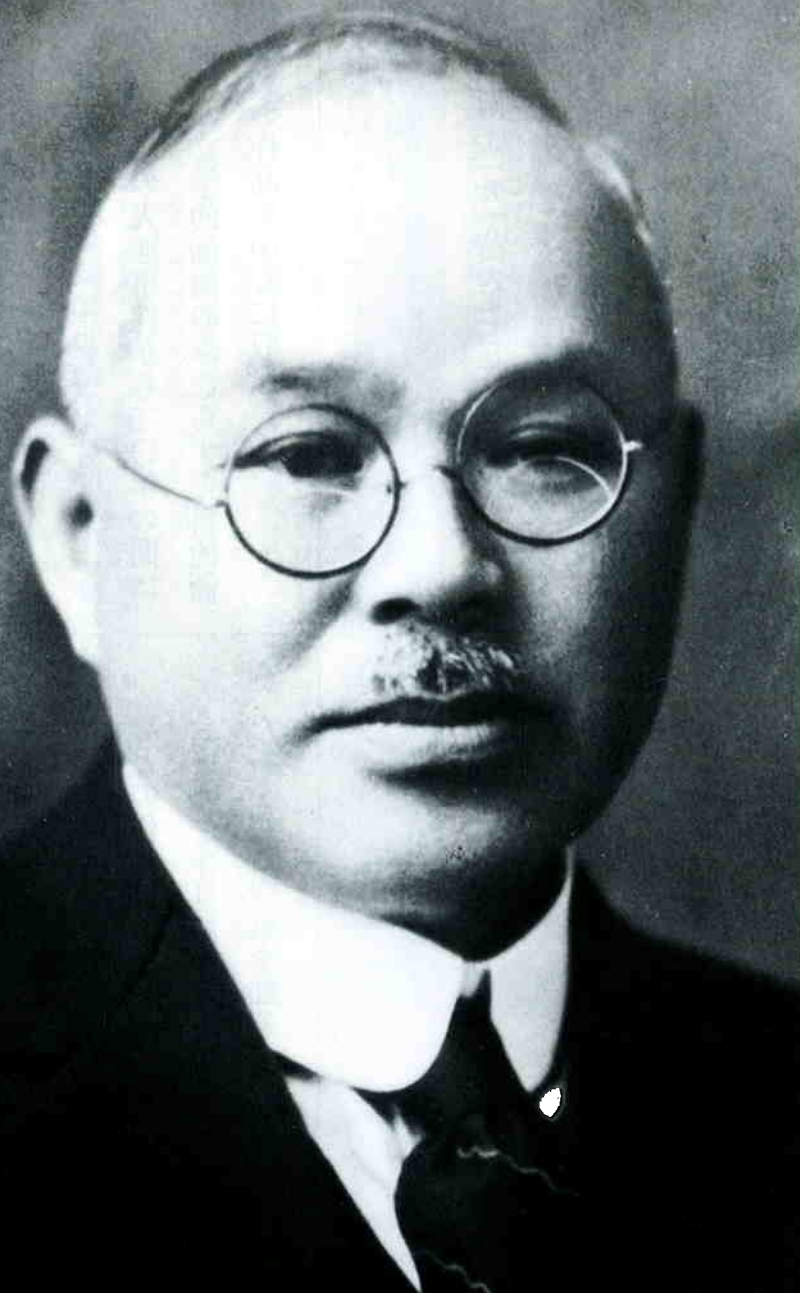
(元桃山学院大学教育研究所所長)

おきの いわさぶろう

発行 学術出版会
発売 日本図書センター

全6巻

独自の思想・宗教観を深めた作家の初期作品を集成。



偶然により

大逆事件での逮捕を免れ、

事件の真相と

時代に翻弄された

青年たちの真摯な生を、

小説や随筆に

仮託して語り続けた

牧師作家

限定
80セット

沖野岩三郎著作集について

1. 沖野岩三郎の多岐にわたる作品の中で、一九一〇年の大逆事件から二〇年の間に書かれ、文学的価値のみならず史料価値も高い作品を中心に収録。

2. 『宿命』『生を賭して』『生れざりせば』などの作品は、明治末から大正期に、社会主義やキリスト教の影響を受けた青年たちを巡る空気を知る上で欠かせない。

3. 大陸における日本の政策と日本人の実態を通して、近代日本を鋭く見つめ、行く末を見通したともいえる朝鮮・満州(中国東北部)紀行『薄氷を踏みて』を収録。

各巻の内容

煉瓦の雨 (一九二八「大正七」年 福永書店)

煉瓦の雨／指相撲／髪／親／転宅／侵入者／自転車／彼の僧／山嵐の如く
文壇へ登場して最初の小説集。與謝野寛、岡田哲蔵、西村伊作、賀川豊彦、佐藤春夫、三並良、富本憲吉、加藤一夫、内ヶ崎作三郎、與謝野晶子、生田長江が跋文を寄せる。
*収録にあたって、一九二〇年刊行の第五版を原本とした。

宿命 (一九一九「大正八」年 福永書店)

前篇 恋愛観／後篇 社会観
一九一七年に大阪朝日新聞の懸賞小説において二等を獲得し、作家としての地位を確立した作品。新聞連載にあたっては書き換えを余儀なくされた。熊野灘の自然と自身の生い立ちを背景に、恋愛小説の筋書きを軸に、大石誠之助の人物像と思想、地方の一族の物語を重層的に描く。

生を賭して (沖野岩三郎著作集 第一篇 (一九一九「大正八」年 警醒社書店)

私は生きてゐる／私までが狂ひそうだ／納豆売にもなり得ず／三つの墓／一口の短刀／彼女の事業／私生児の心／誤解に対する心／宗教心の経路／平凡なる大教訓／Sの運命／彼が求道心と私の信仰／彼は死せり／生を賭して／小鳥の行衛／悼ましき死よ／自己凝視／私は斯く思ふ／發展／誘惑／深潭／露西亜の森の中で
随想や短編小説を集め、著作集の第一篇として刊行したもの。大逆事件で刑死・獄死した友人たちを追憶し、婉曲的に事件の真実を表現。牧師として接した、地方青年たちの精神的な苦悩も印象深い。

渾沌 (一九一九「大正八」年 岩波書店)

生い立ちを題材とした作品の集大成。主人公が成長していく姿を、視点を横々に変える手法で描いている。紀州の山村の自然と生活を描いた生命感あふれる筆致は現在でも新鮮な感動を与える。
*結末が加筆された大阪屋号書店版(一九二四年、第五刷)を併せて収録。



岩波書店版初版の表紙

薄氷を踏みて (一九三三「大正二二」年 大阪屋号書店)

釜山にて／東萊温泉／馬山から鎮海湾へ／慶州へ／金泉より群山へ／木浦より全州へ／清州より忠州へ／忠州より京城へ／京城にて／仁川より開城まで／京城より元山へ／咸興より京城へ／平壤を中心に／平壤より義州へ／安東より奉天まで／没法子／撫順にて／奉天より大連まで／支那の一青年と語る／大連にて／旅順にて

大正一年の朝鮮・満州旅行を基にした紀行文。沖野の分身である作家・首無と案内人の軽妙な会話や現地での見聞を通して、日本の朝鮮・中国への政策や、日本人の態度の底にある差別意識を批判しながら進む旅は、旅順の激戦地跡における、近代日本への哀切な感慨と反戦思想の吐露で幕を閉じる。

生れざりせば (一九二四「大正二三」年 大阪屋号書店)

深い交流があったキリスト教文学者山野虎市をモデルとした長編小説。キリスト教思想に触れ日露戦争に対して非戦論を唱えた主人公と友人たち(杉山元治郎、加藤一夫、沖野自身らがモデル)の苦悩、恋愛、周囲の反応など、当時の青春群像を生き生きと描く。

宿命論者のことば (一九二六「大正一五」年 福永書店)

自然に対して／エスカトロチャイ／恋愛の来る時／犬のはなし／宗教の雰囲気へ／女心のさまじま／途窮つて／米を食う我等／時代を流るゝ二潮流／外出／其夜の話／不思議なる事実／一宗教家の生活心理／年頃／国民性の進化／屍骸から産れた二人／生きながら／二期の外来思想／罰金／内村鑑三氏の閃影／誰をか怨みん／基督教思想と日本の文学／万年筆と原稿紙の生れた話／出草職首／日本に於る世会的会合／迫害史余筆

座談の名手といわれた沖野の話を彷彿させる随筆・評論集。身辺雑記から日本におけるキリスト教受容史まで幅広い話題を綴る。穏やかな筆致の背後に、その後、戦中・戦後を通じてゆるがなかった独自の視点が伺える。

解説・略年譜 太田雅夫(元桃山学院大学教育研究所所長)

沖野岩三郎略年譜

(編集部作成)

一八七六(明治九年)	二〇歳	一月五日、和歌山県日高郡寒川(そうがわ)村(現日高川町)に生まれる。事情により祖父に育てられる。師範学校を卒業。川原河小学校の准訓導となる。創作活動始める。
一八九六(明治二十九年)	二〇歳	七月、ハル夫人とともに受洗。
一九〇一(明治三四年)	二五歳	四月、隣村の僧侶より新約聖書を借りて読む。
一九〇二(明治三五年)	二六歳	二月、日露戦争勃発。教会の青年会員らと非戦論を主張。
一九〇四(明治三七年)	二八歳	九月、明治学院神学部に入學。
一九〇七(明治四〇年)	三一歳	六月、明治学院卒業。新宮教会に赴任。医師大石誠之助と交流し、社会主義やアナキズム思想を知る。
一九〇八(明治四一年)	三二歳	七月、幸徳秋水が新宮に滞在。沖野も幸徳や大石の熊野川舟遊びに加わる。
一九〇九(明治四二年)	三三歳	一月、大石宅の新年会で、禁酒した沖野は招かれず欠席。後にこの会は、大逆事件の捜査の過程で謀議がなされたとみなされた。
一九一〇(明治四三年)	三四歳	六月、大逆事件の捜査が新宮に波及し家宅搜索を受ける。大石誠之助と友人たちが逮捕される。被告やその家族への救援と慰問に尽力する。
一九一一(明治四四年)	三五歳	一月二四日、幸徳秋水とともに大石誠之助に死刑が執行される。
一九一六(大正五年)	四〇歳	五月から九月にかけて『生を賭して』を『六合雑誌』に連載。
一九一七(大正六年)	四一歳	六月、新宮教会を辞任、上京。統一基督教会(日本ユニテリアン教会)副牧師となる。一月二日、『宿命』が大阪朝日新聞懸賞小説の二等に当選。
一九一八(大正七年)	四二歳	二月、『煉瓦の雨』を『黒潮』に発表。九月より一月まで大阪朝日新聞に『宿命』を連載。一月『煉瓦の雨』を出版。
一九二二(大正一一年)	四六歳	五月から三ヶ月にわたって朝鮮、満州(中国東北部)を旅行。
一九二三(大正一二年)	四七歳	五月、『薄氷を踏みて』を出版。
一九二四(大正一三年)	四八歳	二月から九月まで福岡日日新聞に『生れざりせば』を連載。
一九二六(大正一五年)	五〇歳	一月二日、『宿命論者のことば』を出版。
一九三一(昭和六年)	五五歳	三月、アメリカ、ヨーロッパへの旅行に出発。
一九四四(昭和一九年)	六八歳	八月、軽井沢へ疎開。
一九五五(昭和三十〇年)	七九歳	日本キリスト教団に復帰し、浅間高原教会(現軽井沢高原教会)の初代牧師となる。
一九五六(昭和三十一年)	八〇歳	一月三十一日、永眠。

*年譜作成にあたり、浜野重治編『沖野岩三郎自伝』沖野岩三郎先生顕彰事業実行委員会、野口存彌『沖野岩三郎』踏青社を参照した。

内容見本

(約六〇パーセント縮小)

132 明治四十年から四十一年にかけてS町は非常に混乱期であった。或る政治運動鎮壓の結果、東京から其の落武者がOドクトルの所を落付場として續々尋ねて来た。遂には領袖のK、Sが来、Uが来、M、S、Mが来、Uといふ男が来、何れも数ヶ月以上滞在して居た。

丁度この町には置娼問題が起つて町政上の大戦争があつた後で、時の警察署長は官を退いて彼は此の町で『榮樓』と云ふ女郎屋の主人となり、其の部下たりし巡查部長は辭職して遊廓の事務長となると云ふ様な珍現象があつて、人民をして官吏の威信と云ふ事に幾分か疑を懐かしめて居た所へ乗じて、上記の連中が入込んで来て大いに反官僚主義の種子を蒔いたのであつた。

青年達は東京から與謝野寛、生田長江、石井柏亭を招いて文藝講演會を開いたり、劇場で演説會を開いたりした。其時の事であつた。彼の温厚な石井柏亭君をして、『速玉神社の附近、三本杉遊廓に隣れる此の新玉座に於て裸體畫論をなし得る光榮を感謝する』

云々と言はしめた。そして其席上當時中學五年生であつた佐藤春夫君が公然『我はデカダ

沖野岩三郎著作集 全6巻

■定価 94,500円 (本体90,000円+税) ISBN978-4-284-10290-2

■解説・略年譜 太田雅夫 (元桃山学院大学教育研究所所長)

■体裁 A5判、上製、個函・セット函入、総約2800頁

- 収録内容
- 第1巻 煉瓦の雨 (福永書店、1918)
 - 第2巻 宿命 (福永書店、1919)
 - 第3巻 生を賭して (沖野岩三郎著作集 第1篇) (警醒社書店、1919)
渾沌 (岩波書店、1919)
 - 第4巻 薄氷を踏みて (大阪屋号書店、1923)
 - 第5巻 生れざりせば (大阪屋号書店、1924)
 - 第6巻 宿命論者のことば (福永書店、1926)

*第3巻『渾沌』は、結末が加筆された大阪屋号書店版 (1924、第5刷) を併録した。

2010年
9月刊行
限定80セット

おすすめ先 大学・公共図書館 / 近代文学、近代史、近代思想史の研究者 / 大正期の文化に関心がある方

〈学術著作集ライブラリー〉続刊予定 (*順不同)

篠原助市、鶴見祐輔、田中王堂、春山作樹、谷本富、小泉郁子、木村素衛、青木誠四郎ほか

好評既刊

久布白落実著作集 全6巻



- 定価 88,200円 (本体84,000円+税)
ISBN978-4-284-10200-1
- 体裁 A5判・上製函入・総約2500頁
- 解説 高橋喜久江
(日本キリスト教婦人矯風会・売買春問題ととりくむ会)
- 収録内容
 - 第1巻 父
 - 第2巻 女は歩く
 - 第3巻 婦人参政権関連論文 / 矯風問題 / 新日本の建設と婦人
 - 第4巻 父と良人
 - 第5巻 純潔教育はなぜ必要か / 五十年の歩みと五十日の旅 / 日日の食物
 - 第6巻 魔窟ひとすじ 解説

神近市子著作集 全6巻



- 定価 75,600円 (本体72,000円+税)
ISBN978-4-284-10167-7
- 体裁 A5判・上製函入・総約1950頁
- 解説・年譜 杉山秀子 (駒澤大学教授)
- 収録内容
 - 第1巻 引かれものの唄
 - 第2巻 村の反逆者
 - 第3巻 何を為すべきか (上)
 - 第4巻 何を為すべきか (下)
 - 第5巻 女性思想史
 - 第6巻 神近市子自伝 わが愛わが闘い
解説・年譜

安部磯雄著作集 全6巻



- 定価 78,750円 (本体75,000円+税)
ISBN978-4-284-10111-0
- 体裁 A5判・上製函入・総約2590頁
- 解題・年譜 山泉 進 (明治大学教授)
- 収録内容
 - 第1巻 社会問題解釈法 / (付) 社会民主党宣言書
 - 第2巻 都市独占事業論
 - 第3巻 自修論
 - 第4巻 子供本位の家庭 / 産児制限論
 - 第5巻 次の時代 / (付) 社会民主党綱領解説
 - 第6巻 社会主義者となるまで / (付) 明治三十四年の社会民主党 解題・年譜

桐生悠々著作集 全6巻



- 定価 78,750円 (本体75,000円+税)
ISBN978-4-284-00088-8
- 体裁 A5判・上製函入・総約2500頁
- 解題・年譜 太田雅夫
(元桃山学院大学教育研究所所長)
- 収録内容
 - 第1巻 べらんめえ
 - 第2巻 緩急車 第一集 / 緩急車 第二集
 - 第3巻 緩急車 第三集 / 緩急車 第四集
 - 第4巻 有らゆる物の書換
 - 第5巻 動揺と不安
 - 第6巻 畜生道の地球 解題・年譜

〈発行〉

学術出版会

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2
TEL 03-3947-9153 FAX 03-3947-9157
http://www.gaku-jutsu.co.jp
E-mail: info@gaku-jutsu.co.jp

〈発売〉

日本図書センター

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2
TEL 03-3947-9387 FAX 03-3947-1774
http://www.nihontoshu.co.jp

取扱書店